

平成28年4月1日
九州地方整備局 川内川河川事務所

平成28年度 予算概要



○問い合わせ先

川内川河川事務所
TEL 0996-22-3271(代表)



技術副所長

技術副所長

調査課長

工事課長

なかむら せいごう

中村 星剛 (河川)

おおばやし かずゆき

大林 和幸 (ダム)

あべ つよし

安部 剛 (河川)

たかやま よしみつ

高山 善光 (ダム)

1. 平成28年度川内川予算概要

【河川整備計画の基本理念】

～ より安全・安心な川づくりと豊かな暮らしを創出し
命を育み魅力溢れる川内川を次世代へ ～

《平成28年度の主な事業内容》

- 堤防強化対策（吉松地区）の実施＜平成27年度補正予算＞
- 危機管理ハード対策（薩摩川内市、さつま町、湧水町）の実施
＜平成27年度補正予算含み＞
- 川内市街部改修事業（大小路地区）の促進
- 鶴田ダム再開発事業の促進
- 菱刈・羽月川河道掘削の促進
- えびの地区河床低下対策の促進
- 総合水系環境整備事業（湯田地区かわまちづくり）の促進
- 維持修繕工事及び河川工作物応急対策関連事業
- 河川等災害復旧事業（薩摩川内市）

●事業費総括表

（単位：百万円）

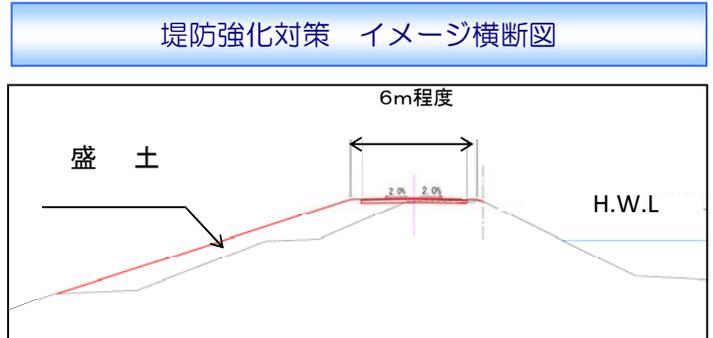
事業費	平成28年度 当初 (A)	平成27年度 補正等 (B)	平成27年度 当初 (C)	対前年度比 (A/C) ※当初比
河川事業関係予算	3,078.0	871.7	3,002.9	1.03
河川改修費	2,528.0	593.3	2,595.0	0.97
河川工作物応急対策事業費	436.1	—	380.0	1.15
総合水系環境整備事業費	44.3	—	27.9	1.59
河川等災害復旧事業費	69.6	278.4	0.0	—
小計（河川等災害復旧事業費を含む）	3,078.0	871.7	3,002.9	1.03
ダム事業関係予算	8,758.4	—	10,834.4	0.81
鶴田ダム再開発事業	8,758.4	—	10,834.4	0.81
小計	8,758.4	—	10,834.4	0.81
川内川事業費合計	11,836.4	871.7	13,837.3	0.86

※本表は、工事諸費を除いている。また、河川維持修繕費を除いている。

2. 主な事業の内容

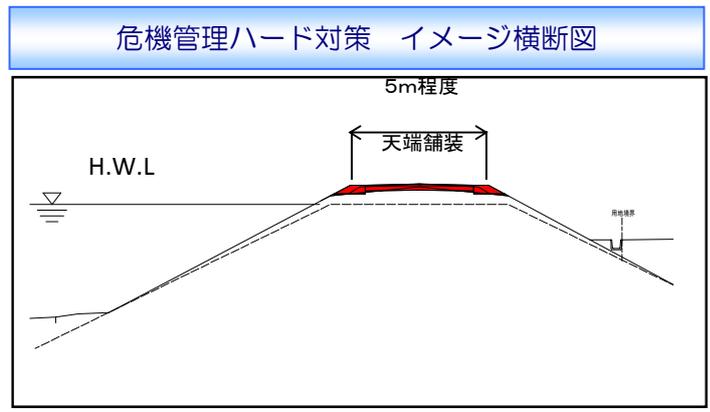
●堤防強化対策の実施（吉松地区）

平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえ、「洪水を安全に流すためのハード対策」の一環として、浸透・パイピング対策である堤防の強化（断面拡大）を実施します。



●危機管理ハード対策の実施（薩摩川内市、さつま町、湧水町）

平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえ、「危機管理型ハード対策」として、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、天端舗装等を実施します。

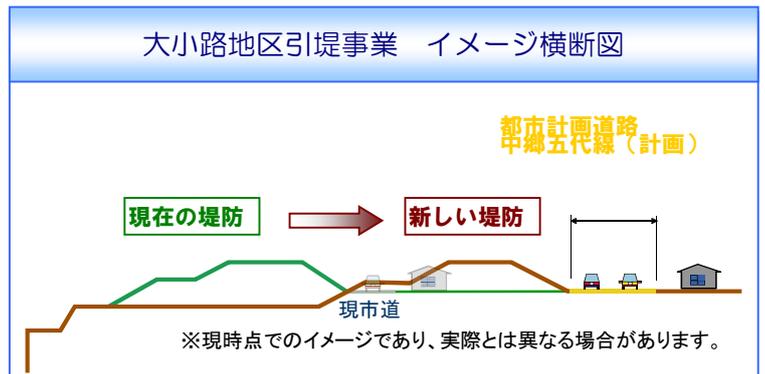


※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

●川内市街部改修事業（大小路地区）の促進

薩摩川内市街部の治水安全度向上のため、平成5年度より中郷地区、瀬口地区、天辰I地区の引堤事業や向田地区の堤防質的整備を実施しています。

平成23年より大小路地区の引堤事業に必要な用地取得に着手し、平成26年度より引堤工事に着手しており、平成28年度についても、引続き市の都市計画道路「中郷・五代線」との連携・調整を図りつつ、引堤事業を促進します。



●鶴田ダム再開発事業の促進

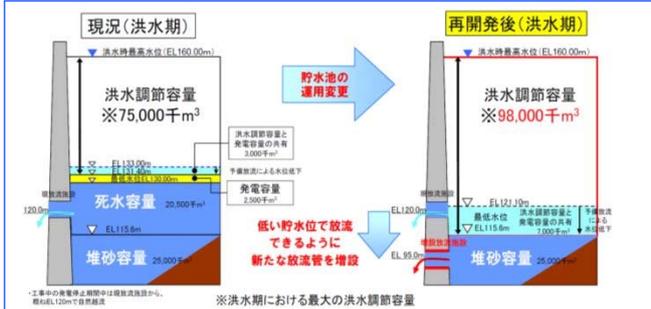
～鶴田ダム洪水調節機能の強化～

鶴田ダム再開発事業は、洪水による被害を軽減するため、鶴田ダムの洪水調節容量を最大75,000千m³から最大98,000千m³(約1.3倍)に増やす事業です。

平成19年度より事業に着手しており、平成28年度より事業による治水効果が発現します。

今年度は、平成29年度の事業完了に向けて既設減勢工改造工事等を継続して実施します。

鶴田ダムの洪水調節容量を増量（さつま町）



鶴田ダム再開発完成イメージ



既設減勢工改造工事の施工範囲



既設減勢工改造工事の施工状況



●菱刈・羽月川河道掘削の促進

菱刈地区及び羽月川については、洪水による浸水被害の軽減を図るため、河道掘削を実施します。

菱刈・羽月川河道掘削（伊佐市）



●えびの地区河床低下対策の促進

川内川上流のえびの地区は、過去より河床低下が進んでおり、河床低下により護岸や堤防、床固め等の河川管理施設への影響が懸念されています。

平成24年度より河床低下対策に着手しており、平成28年度についても、引続き河床低下対策工事を実施します。

えびの地区河床低下対策（えびの市）



●総合水系環境整備事業（湯田地区かわまちづくり）の促進

湯田地区のかわまちづくりについては、安全な河川利用と地域の活性化等を図ることを目的として、平成25年にかわまちづくり計画として申請・登録され、平成26年度より事業に着手し、安全に水辺に近づく階段護岸の整備や高水敷の整正等実施してきました。平成28年度については、引き続き、高水敷の整正等の整備を実施します。



湯田地区状況



湯田地区完成イメージ

●維持修繕工事及び河川工作物応急対策関連事業

平成28年度の維持修繕工事は、河川管理施設の老朽化に伴う修繕を実施し、機能維持を図ります。また、薩摩川内市をはじめとする国管理区間において、堤防点検のための堤防除草等を実施します。河川工作物応急対策関連事業は、安全で適正な機場操作を行うため、長崎排水機場の主原動機の更新等を実施します。



●河川等災害復旧事業（薩摩川内市）

平成27年8月台風15号による風浪の影響を受け被災した護岸等（被災箇所4箇所）について、復旧工事を実施します。

